

教育学分野の紹介

I. 教育学分野での学びと学生への願い

子どもの成長と学習、学校と社会、人間形成など、現代の教育問題を多角的かつ専門的に洞察する力と、学校の授業や生活指導などの場で実践的に子ども達に向き合える力を培えるように、教育史学、教育方法学、教育社会学、教育哲学、教育制度論、生徒指導論などをベースにして、4年間の学びを卒業論文に結集させます。

現代社会に対する幅広い視野と教育学の専門的知識とを身につけることで、子どもが生きる場を捉える柔軟な思考力と、教育課題に向き合う堅実な探究力を養い、一人ひとりの子どもが安心して生き、確かな学びとともに豊かな人間として成長できるような学級や学校、社会を構築する教育者になってほしいと願っています。

II. 教育学分野のスタッフと研究テーマ

教育史 (二井仁美)	教育の思想や制度、実践を歴史研究の方法によって探究します。私自身は、生活指導を要する子どもの教育や、親と離れ社会的養護で育つ子どもの教育の歴史に注目しています。
教育方法学 (黒谷和志)	授業における学力・リテラシー形成、子どもの発達と学級集団づくりについて理論的・実践的に研究しています。
教育社会学 (高橋均)	社会学的な視点を基盤に、保護者の子育て・教育意識や家族の教育戦略にアプローチしています。近年は、都市部から地方部に移住する家族の教育戦略に関心を持っています。
教育哲学 (古川雄嗣)	哲学・思想を手がかりに、望ましい人間の生き方や社会のあり方について考えています。特に人間存在の偶然性という問題に注目しています。
教育制度 (山崎智子)	イギリスの高等教育制度について関心を持ち、教員養成の歴史的展開や技術・専門職教育と教養教育に関する研究に取り組んでいます。
生徒指導論(水野君平)	教育心理学を専攻し、思春期の子ども、特に中学生を対象にした研究をしています。現在の中心的な研究テーマは「スクールカースト」の実証的研究で、どのような担任教師の学級運営や指導のやり方が子どもの学校不適応を防ぎうるのかについて考えています。

III. 教育学の授業 (一部)

1年：教育方法学特講	教師の指導が成立する条件とは何かを探究します。
教育社会学特講	家族と教育、学歴社会、いじめ・不登校、若者文化、教育改革等の問題に理論的・実証的にアプローチし、教育社会学的想像力を涵養します。
生徒指導論特講	子どもたちを取り巻く現状や課題を把握するとともに、生徒指導・進路指導の意義及びすすめ方について理解を深めます。
2年：教育制度・学校経営特講	教員養成や教育財政をめぐる現代的な教育問題を教育制度論の視点から考えます。
教育哲学特講	私たちが生きる「近代」という時代と社会の特質や問題について考えます。
教育史特講	虐待的環境に育つ子どもの教育の歴史と現在を探究します
3年：教育方法学演習 I	授業と学習集団づくりについて探究します。
教育制度・学校経営演習 I	欧米諸国の教育政策や教育制度、学校経営の特質と比較し、日本の教育の仕組みを捉え返します。
生徒指導論演習 I	学校教育や生徒指導に関わる心理学研究の講読とその内容についての討議を行うとともに、量的データの統計的な解析手法を学びます。
教育哲学演習 I	哲学・思想の文献を読解し、それを手がかりに現代社会の諸問題について考える訓練を行ないます。
教育史演習 I	近代日本社会における教師の歴史像について検討します。